

月刊

# 地域保健

1  
2011

●新春座談会

家庭訪問の再興を目指して  
保健師最強のツールをいかに維持、復活させるか



●FRONT RUNNER  
釧路市こども保健部次長  
小林玲子さん

●OPINION! 保健師さんへ  
JA長野厚生連・佐久総合病院医師  
色平哲郎さん

## 小林玲子さん

● 釧路市子ども保健部次長

保健師活動は医療や環境も含めた公衆衛生の一部

数値で評価できない活動はありません。



2006年12月。年の瀬の前に釧路市の地域医療は存亡の機にあった。発端は道東の釧路においても臨床医師研修制度の影響で、医師不足の波が押し寄せ、24時間医療を掲げる医師会病院が夜間救急担当医を確保できなくなったことだった。同病院の負担を減らすため市内の医療機関で夜間救急を持ちまわりにしたところ、今度は市立病院など規模の大きな医療機関に患者が集中、パンク状態に陥ったのだ。仕事の事情で昼間に受診できない患者が大病院の夜間救急に押し寄せたのが原因だった。

当時、釧路市保健福祉部健康増進課の課長だった小林玲子さん（保健師）は、「このままでは大きな病院から医師がいなくなり、釧路の医療は崩壊する。救急を大きな病院に併設させるのではなく、専門の夜間急病センターをつくる以外に打開策はない」と市長に提言。市長の素早い判断で、新たに建

物を購入し夜間急病センターの設置が決まった。しかしセンターが完成するまでの約1年は医師会に持ちこたえてもらわなければならない。ただでさえ救急医療は不採算部門。医師会にとつ

ては大きな負担となる。小林さんは釧路保健所と根室保健所管内の自治体をすべて回り、釧路の救急医療への資金協力を求めた。



釧路港。道内最大の穀物貿易港でもある



新春座談会

家庭訪問の再興を目指して

保健師最強のツールを  
いかに維持、  
復活させるか

鈴木郁子さん  
君津市健康管理課



山口佳子さん  
◎司会  
杏林大学保健学部  
杏林大学保健学部



寺西秀美さん  
新宿区牛込保健センター



渡辺郁子さん  
聖蹟町保健福祉課



伊藤優子さん  
葉山町子ども育成課



保健師の家庭訪問が減っている。延べ件数は平成10年の約289万件から20年には約33万件へと激減した。住民の生活実態を把握するために不可欠である訪問の衰退は、保健師の今後を左右する大きな問題である。新年にあたり、訪問の維持と復活そして今日的なあり方について母子保健の訪問を中心に話し合っていた。



市民の方と健康を  
分かち合いたい

負ケズ嫌い精神でひよこから若鶏に成長

星野智子さん

群馬県渋川市保健福祉部健康管理課



▲温泉浴と運動浴が楽しめるスパイテルメ渋川。保健師1年目からここの健康相談を担当している



取材・文・写真/西内義雄 (医職・保健ジャーナリスト)

「子どものころから、子どもが好きで、した」  
 渋川市の保健師として3年目(25歳)の星野智子さんは楽しそうに語りだした。保健師の皆さんから「子どもが好き」とはよく聞けれど、「子どもが好きなから」というのは珍しいかもしれない。  
 「小学生のころから小さな子と遊ぶのがとても楽しくて、中学くらいから保育士、幼稚園教諭に興味を持ち始めました。そのうち就職のことも考えるようになって、医療関係のほうがいいと思うようになり、子どもにかかわることのできる医療職になりたいと。理学療法士、作業療法士、視機能訓練士などいろいろと候補が浮かんで消え、最終的にたどりついたのは病気の子どもだけでなく、元気な子どもにかかわりたいということ。赤ちゃんと成長していく姿を見守りたいと、保健師を目指すことにしたのです」



▲職場の同僚との旅行スナップ。全員同じ高校出身だそうだ

渋川で生まれ育ち、中学・高校も地元で皆勤賞。周囲に病気を意識させるような出来事はなかった。

「今、こうして保健師をしているのは、自分が健康だったから、みんなも健康であってほしいと思ったからです」

### 高校卒業時には 保健師を目指していた

高校は地元の女子高に進学。2年生のとき、資格を取って働くことを勧めた母親から「保健師はどう？」と聞かれた。

「母の知り合いに産業保健師の方がいたので、勧められたのだと思います。保健師なら立派な資格だし、公務員にもなれる。企業にも勤めることができるからいいのではないかと言われました。ほかに養護教諭も勧められました。就職が難しい上、転動もあるのが、保健師へと気持ちが動いたのです」  
 すぐ保健師について調べてみると、これはいい仕事だと納得できた。

「よし、保健師を目指そう。高校卒業後は医短(群馬県立医療短期大学)現在の群馬県立県民健康科学大学に進み、さらに進学して資格を取ろう！」  
 すぐその気になった。とこころでな